

3. アンケートでいただいたタウンミーティングに関する感想

※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています。

【第1部】「大型スーパー出店に伴うまちづくり」について	
1	バス停の移動については、移動することにより、便利になる人と不便になる人がいることは避けられないので、何を第一にするのかを市民と意見交換をしながら共通理解をすることが重要だ。
2	利便性ばかり求めるのではなく、安全性や環境に配慮したまちづくりをしてほしい。
3	前提となる情報の共有がされていないので、建設的な議論になっていないように感じられた。
【第2部】「エコロジーライフ&地域まちづくり」について	
1	具体的な環境への取り組みについて、もう少し意見を出してほしかった。
2	エコロジーに関する議論がほとんどなかった。テーマが住民の求めるものとずれていた。
3	エコロジーを暮らしの視点から身近なこととして話していくのは、本当に難しいと思った。
4	環境について、真剣に考え、取り組んでいる方々が多く、素晴らしいと思った。また、市へ要望するだけでなく、自分たちで考えていこうという市民参加の姿勢に感心した。
■タウンミーティング全般について	
1	サミット問題、エコロジーの問題はタイムリーであったが、もう少し深く掘り下げて議論できるとよいと思う。また、時にはディベートはどうか。
2	時期を得たテーマだと思う。
3	各テーマに付随する「データ」「青写真」等の資料も配ってくると、知識のない者にもわかりやすいミーティングになるのではないか。
4	課題をその地域に限定したことはよい。広すぎる課題では地域特性が薄れてしまう。
5	同じ人が何回も発言したり、進行に工夫が必要な点もあった。結局、緑町としてどういうまちづくりをしていこうとしているのか、深める議論が必要と思う。
6	3分間と話を区切ったことはよかったが、それでも話が長かった。内容がまとまっていなくて多く、何を言っているのかわからなかった。2分間でよいと思う。質問は1人1つずつまでにすべき。3つ4つ話すと、聞いている人は理解できない。
7	緑町の「団地が多い」という特色は、まちづくりや地域コミュニティのこれからに大いに役立つと思う。お隣やご近所が近いだけに、これからのコミュニティのあり方、お年より世帯や子どもたちを地域で支え合う事がやりやすいという利点をどう活かせばよいか、そんな視点で具体的に地域活動をしたいと思う。
8	市民の方が非常に勉強熱心であり、武蔵野市をよりよくするために様々な視点と、アイデアを持っていらっしやると感じた。今後、行政が一方向的に施策をするのではなく、市民と協力しながら施策の方向性を定めていくことは大切であると認識できた。